

市政のここが聴きたい！

一般質問

9議員が登壇

傍聴者延べ123名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

問 人は誰でも心の中に崇高な精神を持つていて、同時に、愚かさや、いかにわしさを持ち合わせている。しかし今回の元市職員が起こした詐欺及び業務上横領事件は、弁解の余地無く、言語道断と言わざるを得ない。どう考えてもあまりにも単純で幼稚な犯罪であり、健全なる多くの職員はあきれていると思う。しかし、否定的に非難するだけでは物事は前に進まない。現状を否定しながらも肯定的に考え、そこから改善、改革、革新する創造価値が生まれる。今すぐ、信頼回復に努めなければならぬ。この不祥事を、次の発展へのチャンスと生かすことが大切。そこで、全庁に実施した調査結果はどのようなものであったのか。

答 調査内容は、通帳、印鑑及びキャッシュカードを業務上所持しているか、所持している場合、通帳の名義人、印鑑の管理者、キャッシュカードの有無を確認した。現金についても、適正に管理されているか調査した。調査の結果、被害のあった外郭団体の会計口座以外は、適正に管理されていることを確認した。

問 不祥事は二度と起こさないと決意のもと、組織としてもしっかりと防衛しなければならぬ。再発防止に向けた具体的な取り組みは。

答 一つは外郭団体を含む公金、市が保管する現金等の取り扱いに関する管理体制の強化。二つ目は職員の意識改革のための研修、相談体制の充実。三つ目は職員への綱紀粛正の徹底周知を図る。

問 信頼を回復し、市民から期待される市役所となるために、日高市が目指す職員の理想像は。

答 市民を愛し、歴史・文化・自然を愛し、日高市をより良くしようという熱意を持った職員を目指すべき職員像としている。全体の奉仕者としての責任を深く自覚し、高い倫理観と使命感を持って職務に専念する職員を育成する。市民の視点に立ち、スピード感を持って職務に取り組み、職員一丸となって邁進する。



職員不祥事の再発防止策について
山田 一繁

